

「足並みを揃えて荷主との運賃交渉を」 特積部会長として業界の健全発展に尽力

山形県山形市に本社を構える第一貨物(株)(米田総一郎代表取締役社長)は、国内に68の事業所と60の物流センターを構え、特積事業や3PL事業などを全国的に展開している。

四街道市に拠点を置く千葉支店(中村誠支店長)は、地場の協力運送会社と連携しながら、高品質な輸送サービスの提供に取り組んでいる。

千葉県トラック協会特積部会長に就任している中村支店長は、地域に根差す会員部会員と協力しながら、今後も業界の健全な発展の実現に向けた様々な取り組みを進めていく。



緑色の親子ゾウがボディに描かれた同社のトラックの前に立つ中村支店長

■動画マネジメントシステムを新たに導入 プロドライバーとしての素質を磨く

第一貨物(株)千葉支店は、昭和43年に千葉市中央区今井町に開設された。その後、46年に千葉市若葉区若松町に移転し、平成26年に現在の四街道市に移転した。千葉支店では、千葉市、習志野市、佐倉市、八街市、四街道市、酒々井町を自社配達地域にしているほか、千葉県北東部や南部地域は協力運送会社による配達を行っている。

同社のドライバーは、エリア内での配達・集荷業務を担う「集配ドライバー職」と、集荷した商品を配達先の事業所まで輸送する「運行ドライバー職」に分けることができる。集配職、運行職の双方ともに全員が支店に集まる機会が少ないため、事故防止に向けた教育は2~3日に分けて実施している。かつては紙ベースの資料を基に教育を行っていたが、同社では令和2年から動画マネジメントシステム「ABILI Clip」の試用を開始し、3年から全社で展開している。

「ABILI Clip」は、PCやハンディ端末機で隙間時間帯にいるような動画を見ることができ、安全教育についても視聴できるようにした。貨物事故防止対策や運転事故防止対策など、30秒~数分程度の動画を数多くラインアップしている。また、人材確保や退職防止を図る観点から、ドライバーに対して同社の魅力を発信する動画も配信したり、営業職向けのビジネスマナーなども配信するなど、社内情報インフラとしての機能も持ち合わせている。

「当社では従来から、事故防止や輸送品質向上を図るための社員教育を実施していましたが、教育の質の面でバラつきが生じることが課題となっていました。動画による教育は効果的で、業務の隙間時間に負担なく学習できるようになったことで、教育内容の均一化が図られ、プロドライバーとしてのさらなるレベルアップに繋がっています。また、集合研修においてもドライブレコーダーの映像などを活用した教育を実施しており、ドライバーの事故防止に対する意識が高まったことで事故件数も減少しています」(中村支店長)

また、同社では新卒・中途採用のドライバーに対して、山形県天童市にある同社の中央研修所で研修を実施。トラックやフォークリフトの運転操作や点検整備などを学ぶ実務訓練や、実際の集配業務を学ぶ集配実習などを経た上で、3か月程度で立ち立させている。一方で、仕事のミスマッチによる早期離職を防ぐ観点から、同社ではメンター制度を導入しており、新人ドライバーに対するフォローを積極的に行うようにしている。

さて、千葉支店による人材確保の取り組みとしては、令和5年9月に、ハローワーク千葉主催・千葉県トラック協会後援による「運輸のしごと職場見学会」を挙げる事ができる。物流業界の基礎知識や業務説明などの座学を行った後、実際にフォークリフトが稼働する作業現場を参加者に見てもらいながら、荷積み等の業務の詳細について説明した。また、同社が保有するトラックの見学なども行った。同見学会には10人ほどが参加し、2人が同社に入社したという。

また、同社では高校新卒生採用にも積極的に取り組んでおり、本年は県内の高校23校を回り、同社の魅力をアピールしている。「コロナ禍などの際にも物流の仕事はなくなるというイメージが強いいためか、近年では業界未経験者の採用が増えています。一方で、仕事のミスマッチによる早期離職を防ぐための取り組みも欠かせません。当社では入社後のフォロー体制も充実し、早期離職防止に繋がっています。人材不足が一層加速していく中においては、福利厚生制度の充実ぶりを分かりやすくPRするなど、求職者の心に刺さる求人募集活動が求められてくると思います」(同)

さて、福利厚生制度をみると、同社では数年前から週休2日制を導入し、年間休日123日と、同業他社に比べて休みを取り



中村 誠
千葉支店長



隙間時間で安全教育動画などを視聴することができる「ABILI Clip」を導入



同社ではメンター制度を導入し、新人ドライバーに対するフォローを積極的に行う



千葉支店を始めとした同社の事業所では、家族のようなアットホームな職場環境が形成されている

やすい環境が整っている。また、同社は独身寮・社宅制度があり、自宅からの通勤が難しい場合には社宅を貸与している。独身者であれば3,000円で入居ができ、他県出身者が主に利用している。

また、同社では「安全で適正な輸送をするには、社員が第一」と考え、「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」認定を3年連続で取得するなど、従業員一人ひとりが心身ともに健康で安心して働き続ける職場づくりにも積極的に取り組んでいる。

なお、同社の東京支店（東京都江東区）には女性ドライバーが在籍しているものの、千葉支店には現在女性ドライバーは在籍していないという。「特積輸送のドライバーは手荷役が多く、女性には辛い仕事である」というイメージがあって、なかなか女性ドライバーの獲得には結び付いていないというが、中村支店長は「女性の活用を進めなければ、運送業界を守っていくことはできない」と考えており、今後も女性ドライバーの採用に向けた取り組みを進めたいとしている。

一方で、千葉支店ではドライバーの働き方改革への取り組みにも注力している。物流の「2024年問題」に向けての対応としては、協力運送会社と連携しながら、荷主に対して荷物引渡し時間の厳守などを求めている。これにより千葉支店では、一部交渉中の荷主を除き遅かった荷主の集荷時間が一時間ほど早まって前倒しすることができたという。

「ドライバーの働き方改革に向けた取り組みは、運送会社だけでなくものではありません。荷主とのコミュニケーションを積み重ね、ご理解をいただきながら、ドライバーの長時間労働削減に結び付けたいと考えています」（同）

さて、中村支店長は18歳の時に同社に入社し、業界経験を積み重ねてきた。2年ほど前に千葉支店長に就任以降、千葉県トラック協会の活動にも積極的に参画してきた。5年に特積部会長に就任してからは、部会組織の強化・拡充に向けた取り組みを進めている。

現在の特積部会会員数は26社（特積事業者15社、支店数26支店）であるが、中村支店長が特積部会長に就任した直後は、部

会の会合に出席する部会員は7人ほどで、いつも決まったメンバーだったという。「この状況では、業界のさらなる発展に向けた本音の話し合いができない。もっと多くの部会員に積極的に参加してもらい、業界の底上げを図っていかなければならないのではないかと考えた中村部会長は、毎月役員会等を開催し、部会員同士のネットワーク構築・強化に乗り出した。その結果、全体会合開催時の出席部会員は徐々に増加し、直近の会合では18人が出席したという。

中村部会長は、運賃交渉やドライバーの労働時間削減などといった特積輸送に係る諸課題に対して、部会員同士が対話を重ね、連携することで、解決に向けた協力体制が構築できるのではないかと考えている。しかし、各社の運賃は当然ながらまちまちであり簡単にはいかないのが現実である。中村部会長は副部会長とともに着荷主先に伺い、待機時間解消への協力、棚入れ作業撤廃への理解を求めると特積輸送における労働時間削減施策の促進や、荷主と運送会社が協議しやすくなるような環境整備に努めてきたがまだまだ回らなければならない荷主がいる。伺った荷主からの意見については部会員と共有するようにしている。

最後に、中村部会長に、今後の特積部会長としての取り組みについて伺った。

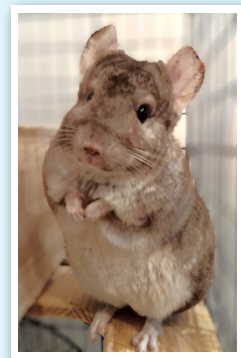
「我々のような特積輸送を担う事業者が荷主から収受する運賃を上げることができなければ、協力運送会社が受け取る運賃を上げることもできません。荷主からの運賃を上げていくためには、荷主に対して『運送事業者が我が国の経済活動を支えている』という意識をもっていただけるよう、各事業者の力を一層強くしていかなければならないと考えています。特積事業者同士がいがみ合いをしているようでは、運送業界全体のためには決してならないと考えています。特積部会としては、部会員同士の理解醸成を図りながら、業界の健全な発展の実現に向けて、部会員全員が足並みを揃えて、可能なものから協力していきたいと考えているところです」（同）

ホットにゆーす

つぶらな丸い瞳が魅力的 仕事を忘れさせてくれる「チンチラ」

中村支店長は、3年ほど前から自宅でチンチラを飼っている。中村支店長の子どもが小動物を好きだったこともあり、以前はハムスターを飼っていた。現在飼っているチンチラには「ライ」君という名前を付け、子どもとともにかわいがっているという。

「チンチラはほとんど鳴かないため、ペットとして飼育しやすい動物ですが、何でも齧るため注意が必要です。我が家のチンチラはつぶらな丸い瞳が魅力的で、仕事のことを忘れさせてくれる『癒しの存在』になっています」（同）



中村支店長が自宅で飼うチンチラ「ライ」君

企業プロフィール
第一貨物株式会社 千葉支店
 支店長 中村 誠
 所在地 千葉県四街道市
 大日字大作岡 1112-1
 従業員 72人（うちドライバー58人）
 台数 77台